

スポーツ分野における非正規経済圏の拡大～海賊版配信と違法賭博～

一般財団法人マルチメディア振興センター（FMMC）

調査研究部 上級研究員

米谷 南海



概要

近年、スポーツ中継は放送と動画配信の双方で提供され、視聴環境が複雑化するとともに、視聴に必要な費用も高額化している。こうした正規の視聴環境の変化を受け、世界的に海賊版スポーツ配信サービスの利用が拡大している。さらに、海賊版スポーツ配信サービスと違法オンラインスポーツ賭博サービスが非公式な提携関係を構築し、相互送客を行うことで、非正規の経済圏を形成していることも指摘されている。こうした非正規経済圏の拡大は、ユーザ個人に加え、中継権取得事業者やスポーツ団体、さらには社会全体にも影響を及ぼすことが懸念される。本稿では、こうした非正規経済圏が形成される仕組みやその影響について整理したうえで、筆者が独自に実施したアンケート調査から、日本における状況についても一部紹介する¹。

本稿では、以下の用語について下記のように定義し使用する。

- 海賊版スポーツ配信サービス：権利者の許諾なく試合の中継映像をライブ配信する目的で独自に運営されるオンラインサービス
- 違法オンラインスポーツ賭博サービス：公的な許可を得ずに運営される、スポーツを対象としたオンライン賭博サービス

1. 動画配信とオンラインスポーツ賭博の統合

従来、スポーツ中継は放送サービスを中心に提供されてきたが、近年は動画配信サービスが視聴手段として定着している。2026年6月に世界12か国で実施された国際調査においても、回答者の5割強が動画配信サービスを通じてスポーツ中継を視聴しており、スポーツ視聴のオンライン化が世界的に進展していることが確認された²。

こうしたなか、オンラインスポーツ賭博が合法化されている国・地域では、スポーツファンの囲い込みと収益化を図るため、動画配信サービスとオンラインスポーツ賭博サービスを組み合わせる動きが広がっている。代表的な例としては、スポーツ特化型動画配信事業者 DAZN と賭博大手 Pragmatic Group の提携が挙げられる。両社は、動画配信アプリ「DAZN」で試合

¹ 本稿は、米谷南海（2026）「スポーツ中継を巡る新たな課題～海賊版スポーツ配信と違法オンラインスポーツ賭博～」『ICT World Review』Vol.18, No. 5, pp.6-11. を抜粋及び一部改編したものである。より詳細な調査結果は、米谷南海（2026）『動画配信時代のスポーツ放映（後編）－海賊版スポーツ配信と違法オンラインスポーツ賭博』[\[https://www.fmmc.or.jp/activities/report/itemid488-007748.html\]](https://www.fmmc.or.jp/activities/report/itemid488-007748.html) にてまとめている。

² IBM and Morning Consult (2026) IBM Sports Intelligence Report, p.14.
[\[https://filecache.mediaroom.com/mr5mr_ibmnewsroom/201706/IBM%20Sports%20Intelligence%20Report%20August%202026.pdf\]](https://filecache.mediaroom.com/mr5mr_ibmnewsroom/201706/IBM%20Sports%20Intelligence%20Report%20August%202026.pdf)

中継を視聴しながら、スポーツ賭博アプリ「DAZN Bet」で賭けを行えるエコシステムを構築しており、2026 年 9 月現在、欧州 5 か国（英国、スペイン、ドイツ、イタリア、フランス）及びカナダの一部州で DAZN Bet アプリの利用が可能となっている。

従来のスポーツ賭博は、オンサイトとオンラインとにかかわらず、試合前に勝敗や得点などを予想して賭ける形が中心だった。これに対し、DAZN Bet のようなサービスでは、試合中継と賭博サービスを連携させ、試合を観戦しながら、その場で賭けられる環境を提供する。試合展開に応じて刻々と変化するオッズを確認し、視聴中のプレーの内容や結果を対象に賭けるなど、スポーツの「視聴」と「賭け」をリアルタイムで結び付ける点が特徴である。このようなサービスは「Watch and Bet」や「Sports Betting 2.0」と表現されることもある。

2. 海賊版配信と違法賭博による非正規経済圏

他方で、スポーツ中継の視聴方法が複雑化・高額化していることが、海賊版スポーツ配信サービス（以下、海賊版配信とする）の利用拡大を招いている。同じスポーツイベントであっても、試合ごとに地上放送・有料放送・無料動画配信・有料動画配信など視聴できるサービスが異なり、全試合を観戦するためには複数の有料サービスへの加入が必要となる場合もある。その結果、視聴手続きの煩雑さに加えて経済的負担も増大し、複数の競技を単一のサービスで横断的に、かつ無料または低コストで視聴できる海賊版配信が、正規中継サービスの代替手段として選択されやすい状況が生じている。Ampere Analysis（2025）によれば、欧米 6 か国のスポーツファンの約半数が少なくとも月 1 回は海賊版配信を視聴している³。

加えて、近年特に注目されているのが、海賊版配信と違法オンラインスポーツ賭博サービス（以下、違法賭博とする）の結び付きである。海賊版配信の中には、違法賭博との間で、「dark affiliates」や「dark nexus」と呼ばれる不透明な提携関係を形成している例が確認されている（図表 1）。

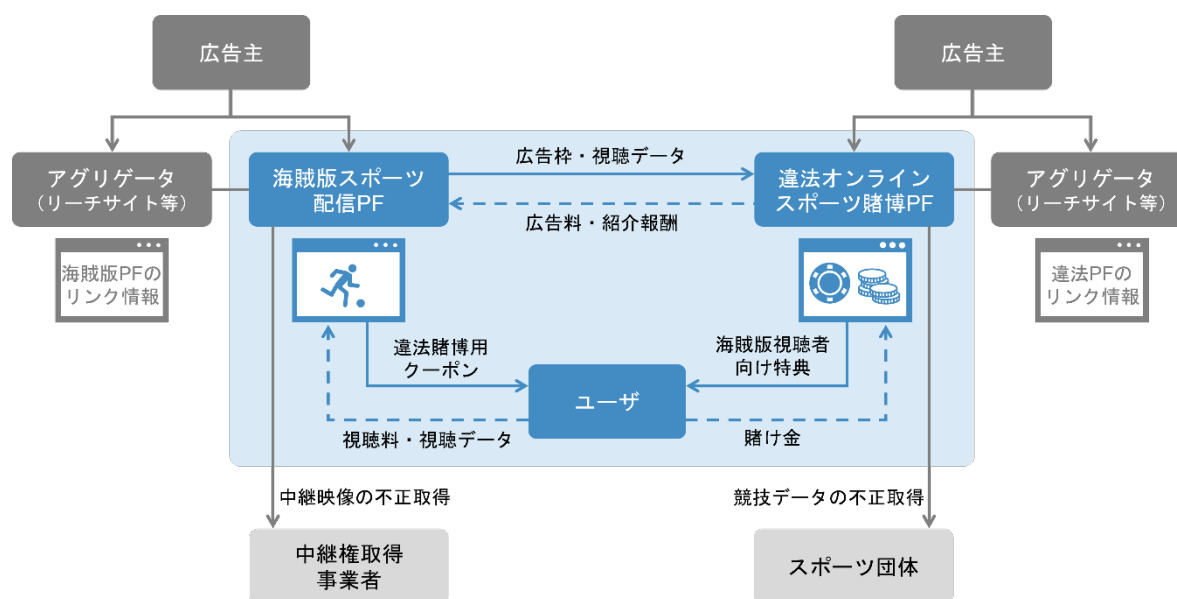
具体的には、海賊版配信事業者は、自社プラットフォーム上に違法賭博の広告を掲載したり、賭博に利用できるクーポンを配布したりして、ユーザを違法賭博プラットフォームへ誘導する。一方、違法賭博事業者は、海賊版配信事業者に広告料や紹介報酬を支払うほか、海賊版配信への新規登録を条件とする特典キャンペーンを展開するケースもある。違法事業者同士が利用者を相互に誘導し、その収益を分配することで、非正規経済圏を形成している。

Gaming Compliance International（2026）によれば、2026 年 6 月～7 月に開催された FIFA ワールドカップでは、90 秒以上の海賊版配信視聴回数が世界で 1,743 億回に上り、その 95% に違法賭博広告が表示された。また、海賊版配信事業者は、ユーザを違法賭博に誘導し、当該ユーザが賭博で失った金額の 25～50%を報酬として得ていたという⁴。

³ Ampere Analysis (2025.02.14) Piracy is a growing challenge for sports in 2025, with 69% of US fans and many in Europe streaming illegally. How can rightsolders and broadcasters find ways to engage fans, and how can the industry adapt?, X. [<https://x.com/AmpereAnalysis/status/1890080909589700908>]

⁴ Gaming Compliance International (2026) Illegal Streaming – Global: World Cup 2026. [<https://gamingcompliance.com/news/illegal-streaming-global-world-cup-2026/>]

図表 1 海賊版配信と違法賭博の提携関係



出所：筆者作成

3. 非正規経済圏の拡大に伴う社会経済的リスク

海賊版配信は違法賭博への導線となっている面があり、実際、海賊版配信の視聴増加に伴って違法賭博の利用が増加するという相関関係が、一部の先行研究で確認されている⁵。こうした海賊版配信と違法賭博の結び付きによって形成される非正規経済圏の拡大は、ユーザ、中継権取得事業者、スポーツ団体、社会全体に多面的なリスクをもたらす。主なものは次の4点である。

- 1) ユーザへのリスク：海賊版配信や違法賭博では、適切なユーザ保護措置が十分に講じられていない場合が多い。視聴や利用の過程で、マルウェアへの感染、不正な広告配信、フィッシング詐欺への誘導が発生する可能性があり、ユーザ登録や決済を伴う場合には個人情報や決済情報が流出するリスクもある。また、年齢確認、賭け金の上限設定、自己排除制度などが不十分な環境で、過度に刺激的な広告やボーナス表示が繰り返されることで、賭博行為が反復的かつ衝動的に誘発され、賭博依存症につながるおそれもある。
- 2) 中継権取得事業者へのリスク：海賊版配信の視聴が広がることで、正規中継サービスの視聴者数が伸び悩み、広告収入や加入料収入の減少につながる可能性がある。これらの収益減少は中継権料の支払い能力や将来の権利取得意欲に影響を及ぼし、スポーツ中継権市場全体の持続可能性を損ないかねない。中継権収入はスポーツ団体にとって重要な収入源であるため、中継権市場の縮小は競技運営、選手育成、地域スポーツ振興などへの投資縮小につながる可能性もある。
- 3) スポーツ団体へのリスク：海賊版配信や違法賭博では、スポーツ団体の名称やロゴ、選手の

⁵ Jeong, B. et al. (2023) Digital Piracy of Live Content and Illegal Online Gambling: Evidence from Live Sports Broadcasts. https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=4642087

肖像などが無断で利用されることが多く、権利侵害やブランド価値の毀損につながる。また、違法賭博では下位リーグやマイナー競技なども賭けの対象となる場合があり、競技関係者への不正な働きかけや八百長のリスクが高まるほか、競技データの不正取得・利用によって、スポーツ団体が保有するデータの価値や管理にも影響が及ぶ可能性がある。

- 4) 社会全体へのリスク：非正規経済圏で生じる収益は、資金洗浄や地下銀行、暗号資産を通じた越境送金などに利用されている。また、海賊版配信や違法賭博が、詐欺やサイバー犯罪、人身取引などの犯罪活動を行う組織によって運営されている事例も確認されている。非正規経済圏が拡大すると、その収益が別の犯罪活動に投入され、犯罪ネットワークの資金源となる可能性がある。

4. 日本における実態と今後の展望

筆者が2025年7月に日本の成人男女2,000人を対象に実施したウェブアンケート調査では、規模は限定的ながら、日本でも海賊版配信や違法賭博が利用されている実態が確認された⁶。スポーツ中継を日常的に視聴している1,222人のうち11.0%が海賊版配信を主な視聴手段としており、その理由として「正規（中継）サービスは料金が高く、経済的理由で利用が難しいから」が最多割合を占めた。また、合法・違法を問わずスポーツ賭博の経験がある528人のうち5.7%に違法賭博の利用経験があった。さらに、海賊版配信を視聴する視聴者は、視聴しない視聴者と比べて違法賭博の利用率が高かった（図表2）。

図表2 スポーツ中継の視聴手段別にみたスポーツ賭博経験

			スポーツ中継		
			日常的に視聴する		視聴しない
			海賊版配信を視聴	海賊版配信を非視聴	
スポーツ賭博	経験あり	違法賭博を利用	4.9%	1.9%	0.4%
		違法賭博を非利用	38.3%	33.4%	10.8%
	経験なし		57.0%	64.7%	88.8%
			計 100.2%	計 100.0%	計 100.0%

*海賊版配信＝海賊版スポーツ配信サービス、違法賭博＝違法オンラインスポーツ賭博サービス

**四捨五入による端数処理のため合計値が100.0%にならない場合がある。

出所：筆者作成

これらの結果は、海賊版配信と違法賭博が別個の問題として存在するだけでなく、同じユーザー層や行動の中で重なり合っていることを示している。今後、正規中継サービスの視聴にかか

⁶ 2025年7月7日～9日、株式会社クロス・マーケティングに委託し、日本国内に在住する20～69歳の男女を対象とするウェブアンケート調査を実施した。性別・年代別の人口構成比で割付し、2,000人から有効回答を得た。

る費用が増加すれば、日本においても海賊版配信の利用がさらに広がり、それに伴って違法賭博の利用も拡大することで、社会経済的コストが増大する展開も想定される。したがって、スポーツ中継へのアクセスを考える際には、正規の視聴機会を確保するとともに、海賊版配信と違法賭博の結び付きによって形成される非正規経済圏をいかに断ち、その拡大を防ぐかという視点も必要となる。

この点は、いわゆる「スポーツへのユニバーサルアクセス権」の捉え方にも関わる。従来、この権利は、国民的関心の高いスポーツイベントの中継を追加的な経済的負担なく、全国あまねく視聴できることを求める考え方として理解されてきた。しかし、視聴手段が放送から動画配信へと広がるデジタル環境では、単に「視聴できるか」だけでなく、「安全に視聴できるか」という観点も無視できない。海賊版配信や違法賭博との結び付きが示すように、正規中継サービスへのアクセスがしにくい状況では、個人情報漏洩や違法賭博への誘導など、視聴者が新たなリスクにさらされる可能性があるためである。こうした視聴環境の変化を踏まえると、スポーツの公共的価値を誰もが享受できる環境を考える際には、従来の「視聴できること」に加え、「安全に視聴できるか」という点も論点となり得る。